症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

		全身性	不特定	頭部													頸部				胸部						腹部												上肢							下肢						
					顔面	眼		耳	鼻	口							喉		前頸部	側頸部	項部		前胸部	側胸部	背部	乳房			心窩部	鼠蹊部	側腹部	下腹部	腰部	臀部	鼠径部	会陰部					肩	上腕	肘	前腕	手首	手	指		股関節	大腿	膝	下腿	足首	足	足指
							眼瞼				歯	舌	口腔	咽頭	喉頭	嚥下時											乳頭										陰茎	陰嚢	女性性器																	
	診断	S02皮膚のかゆみ	S02皮膚のかゆみ																																			X17骨盤内臓器の症状	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ	N06しびれ
腫脹	部位固有	A08腫脹	A08腫脹															L07顎関節の腫れ								X21乳房の症状	X20乳頭の症状												L09上肢の腫れ	L08肩の腫れ	L09上腕の腫れ	L10肘の腫れ	L09前腕の腫れ	L11手首の腫れ	L12手の腫れ	L12指の腫れ	L14下肢の腫れ	L13股関節の腫れ	L14大腿の腫れ	L15膝の腫れ	L14下腿の腫れ	K07腫脹	L17足の腫れ	L17趾の腫れ
		L20関節の腫れ																																																					
		L19筋肉の腫脹																																																					
	診断	B02リンパ節腫脹	S11外傷後の皮膚感染	S11外傷後の皮膚感染				S11外傷後の皮膚感染	S11外傷後の皮膚感染	S11外傷後の皮膚感染								S11外傷後の皮膚感染				S11外傷後の皮膚感染						S11外傷後の皮膚感染										S11外傷後の皮膚感染							S09感染した指	S11外傷後の皮膚感染							S09感染した趾
腫瘤	部位固有	A08腫瘤	A08腫瘤																							X19乳房腫瘤	X20乳頭の症状																													

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

		全身性	不特定	頭部				耳	鼻	口								頸部				胸部						腹部												上肢								下肢							
					顔面	眼		耳	鼻	口								頸		前頸部	側頸部	項部		前胸部	側胸部	背部	乳房			心窩部	腹部	側腹部	下腹部	腰部	腎部	鼠径部	会陰部					肩	上腕	肘	前腕	手首	手	指		股関節	大腿	膝	下腿	足首	足	足指
							眼瞼				歯	舌	口腔	咽頭	喉頭	嚥下時											乳頭										陰茎	陰嚢	女性性器																	
		S03いぼ																																																					
		S05全身性皮膚結節	S04皮膚結節	S04皮膚結節				S04皮膚結節	S04皮膚結節									S04皮膚結節				S04皮膚結節						S04皮膚結節												S04皮膚結節								S04皮膚結節							
	診断	S10せつ・よう	S10せつ・よう	S10せつ・よう				S10せつ・よう	S10せつ・よう									S10せつ・よう				S10せつ・よう						S10せつ・よう												S10せつ・よう								S10せつ・よう							
皮膚	部位固有	S07全身性発疹	S06発疹	S06発疹				S06発疹	S06発疹									S06発疹				S06発疹						S06発疹												S06発疹							S22爪の症状	S06発疹							S22爪の症状
		S21皮膚の症状	S21皮膚の症状	S21皮膚の症状	S21皮膚の症状			S21皮膚の症状	S21皮膚の症状	S21皮膚の症状								S21皮膚の症状				S21皮膚の症状						S21皮膚の症状												S21皮膚の症状								S21皮膚の症状							
	診断																																														S20鶏眼・胼胝							S20鶏眼・胼胝
外傷・出血	部位固有	S12虫さされ	B29鼻出血性	S12虫さされ	S12虫さされ	F02赤目		H05耳出血										S12虫さされ				S12虫さされ						S12虫さされ												S12虫さされ								S12虫さされ							
		S13咬傷		S13咬傷	S13咬傷													S13咬傷				S13咬傷						S13咬傷												S13咬傷								S13咬傷							
		S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが			S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S20けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが	S19けが

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

		全身性	不特定	頭部														頸部				胸部						腹部												上肢								下肢							
					顔面	眼		耳	鼻	口							頸		前頸部	側頸部	項部		前胸部	側胸部	背部	乳房			心窩部	胸部	側腹部	下腹部	腰部	臀部	鼠径部	会陰部					肩	上腕	肘	前腕	手首	手	指		股関節	大腿	膝	下腿	足首	足	足指
							眼瞼				歯	舌	口腔	咽頭	喉頭	嚥下時											乳頭										陰茎	陰嚢	女性性器																
		L20関節の過伸展				F94失明			R05咳	R05咳												R05咳						D08おなら										X10月経発来の延期	S08皮膚色調の変化							S08皮膚色調の変化							
		L20関節の過屈曲				F91視力障害			R07くしゃみ	R07くしゃみ												R07くしゃみ						D15黒色便										X11閉経期の症状																
		N07痙攣							R02息切れ	R02息切れ												R25痰の異常						D16血便										X12閉経後出血																
		N08不随運動							R06鼻の症状	R23声の症状				R21のどの症状	R23声の症状							S08皮膚色調の変化						D18便の異常										X13性交後出血																
		N17めまい感								R25痰の異常				R25痰の異常	R25痰の異常													D25腹部膨満										X14腟帯下																
		A04全身脱力								T01口渇																		S08皮膚色調の変化																											

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

		全身性	不特定	頭部													頸部					胸部					腹部												上肢								下肢							
					顔面	眼		耳	鼻	口							頸		前頸部	側頸部	項部		前胸部	側胸部	背部	乳房			心窩部	胸部	側腹部	下腹部	腰部	臀部	鼠径部	会陰部					肩	上腕	肘	前腕	手首	手	指		股関節	大腿	膝	下腿	足首	足	足指
							眼瞼				歯	舌	口腔	咽頭	喉頭	嚥下時											乳頭									陰茎	陰嚢	女性性器																
		R07 くしゃみ																																																				
		S08 皮膚色調の変化																																																				
		S21 皮膚の症状	S21 皮膚の症状	S21 皮膚の症状	S21 皮膚の症状		S21 皮膚の症状	S21 皮膚の症状	S21 皮膚の症状	S21 皮膚の症状								S21 皮膚の症状				S21 皮膚の症状					S21 皮膚の症状											S21 皮膚の症状								S21 皮膚の症状							
		T07 体重増加		S23 脱毛																																																		
		T08 体重減少		S24 毛と頭皮の症状																																																		
		T10 成長遅延																																																				
	動作	R02 息切れ							R02 息切れ	R02 息切れ												R02 息切れ																																	

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

		全身性	不特定	頭部													頸部					胸部						腹部												上肢								下肢						
					顔面	眼		耳	鼻	口							頸		前頸部	側頸部	項部		前胸部	側胸部	背部	乳房			心窩部	脇部	側腹部	下腹部	腰部	陰部	鼠径部	会陰部					肩	上腕	肘	前腕	手首	手	指		股関節	大腿	膝	下腿	足首	足	足指
							眼瞼				歯	舌	口腔	咽頭	喉頭	嚥下時										乳頭										陰茎	陰嚢	女性性器																	
意識	部位固有	N17めまい感		N17めまい感																																																		
		P01不安感	P01不安感																																																			
		P01神経質																																																					
		P01緊張感																																																					
熱		A03発熱	A02悪寒																																																				
疲れ		A04全身脱力	A04倦怠感	A04慢性疲労	A04疲れる	A05体調不良	A05すぐに疲れる	A05元気が出ない																																														
精神		P01不安感	P01神経質	P01緊張感	P02急性ストレス反応	P03抑鬱感	P04焦燥	P04怒り	P05老化に伴う感情	P06睡眠障害	P07性欲の低下	P08性的機能制限	P09性的嗜好の問題	P10吃音	P10チック	P11小児の食行動の問題	P12夜尿症	P12遺尿	P13便失禁	P15慢性アルコール乱用	P16急性アルコール乱用	P17たばこの乱用	P18医薬品の乱用	P19精神作用物質の乱用	P20記憶力の障害	P21集中力の障害	P21健忘	P22小児の行動に関する問題	P23青年の行動に関する問題	P24特殊な学習に関する問題	P24失認	P24失読	P25成人の人生の節目における問題	P27精神障害の心配	P29妄想	P29摂食障害	P29幻覚																		

症状分類ICPC-2クロスマッチテーブル

| | | |

資料　　症状マスター使用のためのガイドライン

１目的

症状マスターは症状・現病歴を構造的に記載し、日常診療で記載したデータを集積し分析することにより医療の質を向上させることを目的に開発されました。多施設間でのデータ集積を実現するためこのガイドラインに従ってご利用下さい。症状項目の追加や改訂についてのご要望、およびご質問は医療情報システム開発センター（MEDIS）までご連絡下さい。

2症状マスターが対象としている診療の範囲

症状マスターは内科・外科外来診療を想定して作製しました。症状マスターが扱う症状とは本人が自覚した健康問題または家族などが自覚した健康問題をさし、医師など医療従事者がその健康問題を客観的に認識できた場合を所見と定義しています。症状マスターは電子カルテに搭載し、日常診療のデータを多施設間で共有し、あるいは集積・分析してEvidence Based Medicine(EBM)を推進するためのエビデンス作製に活用することです。このため身体所見の標準化マスター：PHYXAM と同じくデータを構造化して記載できるように設計し、ICPC-2 を仲介役として症状マスターと PHYXAM が連携するように設計しています。

介護保険制度により医療サービス提供の場は医療機関から在宅に比重が移りつつあり、インターネットの普及により患者がいる場所から医療の提供が始まろうとしてます。このため症状マスターは患者や家族など医学教育を受けていないものも利用する可能性があることに配慮してできるだけ平易な表現を採用しました。

症状マスターは平成１５年度および１６年度厚生労働省科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）症状・所見の標準化と診療分析手法の開発研究により作製しました。

3使用方法

３－１ファイルの構成

マスターファイルは以下のファイルで構成されています。

1)ガイドライン（このファイルです）
2)症状基本項目
3)症状修飾情報記載テーブル(1W1H)
4)症状付加情報記載テーブル(4W)
5)症状マスター・ICPC-2 クロスマッチテーブル

これらのファイルは医療情報システム開発センター（MEDIS)ホームページからダウンロードしてご使用下さい。アップデートは MEDIS ホームページを通じて行います。

３－２症状マスターファイルの構造

症状マスターは１３の基本項目からなります。これらの要素を理解するには症状マスター・ICPC-2 クロスマッチテーブルを見ていただくことが一番わかりやすくなっています。

症状マスターは医学教育を受けておられない方も使用できるように、同じ訴えが違う項目にも現れます。最初に選ぶ項目を間違えても自分の症状が見つかるように配慮されているからです。

1W1H テーブルは症状項目と深く関わっていますので、選んだ項目に従って選択表示するように画面設計してください。あるいはテキスト記載した症状から症状項目を見つけ出し、その修飾語を解析していくようなインターフェースも考えられます。

4W テーブルはコードとラベルの組み合わせで記載してください。
以下に症状マスター利用の例を示します。

例）元のデータ

平成１６年１月１日午後１時１０分、神戸市中央区三宮町１の交差点で横断歩道を歩行中に神戸一（仮名）が運転する乗用車にはねられた。
右手首が痛く、腫れて動かせない。

症状マスターでの記載

|comp6^外傷^ICPC-2^L11^手首が動かない^右|
1.1.1.2.^正確な日付^20040101|
1.1.2.2.^正確な時刻^1310|
1.3.2.2.^地番^神戸市中央区三宮町１|
1.3.3.13.3.4.^交差点|
1.1.5.12.^歩行中|2.2.3.2.2.^神戸一|
|comp3^腫れ^ICPC-2^L11^手首の腫れ^右|
1.1.1.2.^20040101|
1.1.2.2.^1310|
1.3.2.2.^神戸市中央区三宮町１|
1.3.3.13.3.4.^交差点|
1.1.5.12.^歩行中|
2.2.3.2.2.^神戸一|
|comp1^痛み^ICPC-2^L11^手首の痛み^右|
1.1.1.2.^20040101|
1.1.2.2.^1310|
1.3.2.2.^神戸市中央区三宮町１|
1.3.3.13.3.4.^交差点|
1.1.5.12.^歩行中|
2.2.3.2.2.^神戸一|

症状マスターを使用するとデータは構造化されます。

個人情報データの隠匿例

|comp6^外傷^ICPC-2^L11^手首が動かない^右|1.1.1.2.^正確な日付^|1.1.2.2.^|1.3.2.2.^正確な時刻^|1.3.3.13.3.4.^交差点|1.1.5.12.^歩行中|2.2.3.2.2.^|

|comp3^腫れ^ICPC-2^L11^手首の腫れ^右|1.1.1.2.^|1.1.2.2.^|1.3.2.2.^|1.3.3.13.3.4.^交差点|1.1.5.12.^歩行中|2.2.3.2.2.^|

|comp1^痛み^ICPC-2^L11^手首の痛み^右|1.1.1.2.^|1.1.2.2.^|1.3.2.2.^|1.3.3.13.3.4.^交差点|1.1.5.12.^歩行中|2.2.3.2.2.^|

個人情報保護に抵触するおそれのある項目は個人氏名の他に、生年月日、住所、事故の日時と場所などがあります。治療中であっても通常の診療中はこれらの個人情報を必要としません。また学会活動等や症例データベース作製時など個人情報の漏洩に留意する必要が高い場合もあります。症状マスターでは個人情報が格納される位置が定まっているため、紹介状や診断書など個人情報を提供しなければならない場面と、これら個人情報を秘匿すべき場面とで情報の出し方を制御することが可能です。

人間が読みやすいように整形した例（個人情報有り）

comp6^外傷^ICPC-2^L11^手首が動かない^右

正確な日付^20040101	正確な時刻^1310
地番^神戸市中央区三宮町１	場所^交差点
動作^歩行中	加害者^神戸一

|comp3^腫れ^ICPC-2^L11^手首の腫れ^右

|comp1^痛み^ICPC-2^L11^手首の痛み^右

人間が読みやすいように整形した例（個人情報秘匿）

comp6^外傷^ICPC-2^L11^手首が動かない^右

正確な日付^	**正確な時刻^**
地番^	**場所^交差点**
動作^歩行中	**加害者^**

|comp3^腫れ^ICPC-2^L11^手首の腫れ^右

|comp1^痛み^ICPC-2^L11^手首の痛み^右

症状項目毎にインデントを使用するとわかりやすくなります。症状の修飾項目のみ表示されていることで、データは存在するが秘匿していることがわかります。